



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場会社名 東和薬品株式会社

上場取引所 東

コード番号 4553 URL <http://www.towayakuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田逸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長 (氏名) 西川義明

TEL 06-6900-9101

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	36,315	6.9	7,228	△0.9	7,388	7.0	4,340	0.7
23年3月期第3四半期	33,961	15.9	7,292	21.9	6,903	24.9	4,311	28.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 4,303百万円 (1.3%) 23年3月期第3四半期 4,249百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	252.81	—
23年3月期第3四半期	251.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	79,174		49,679		62.8	
23年3月期	72,964		46,664		64.0	

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 49,679百万円 23年3月期 46,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
24年3月期	—	40.00	—		
24年3月期(予想)				35.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期第2四半期末の配当金には、創業60周年記念配当5.00円を含んでおります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	4.0	8,400	△13.0	8,300	△11.7	5,100	△12.8	297.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	17,172,000 株	23年3月期	17,172,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	4,943 株	23年3月期	4,899 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	17,167,070 株	23年3月期3Q	17,167,122 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、昨年の3月の東日本大震災の影響による落ち込みからしだいに持ち直しの動きとなっています。一方で、欧州危機を発端とする海外経済の減速や超円高水準の定着、電力供給問題、議論となっている消費増税による経済への影響などの多くの懸念材料があり、今後の見通しはなお不透明であります。

医療用医薬品業界では、平成23年度は診療報酬改定もなく、平成22年4月に実施された後発医薬品調剤体制加算の見直しの影響も一巡したため、ジェネリック医薬品市場の拡大にも一服感があります。

当社といたしましては、今後本格的なジェネリック医薬品の普及拡大期を迎えるにあたり安定供給体制の拡充を図るため、種々の施策に取り組んでおります。生産面につきましては、山形工場が10月に竣工いたしました。また、昨年度より増設を図ってまいりました営業所についても、計43営業所となり、営業体制の拡充も着実に進んでおります。また、11月の追補品として大型化が期待されるアトルバスタチン錠につきましては、同業他社の多くが開発に困難を極める中、当社は独自の結晶形の開発などの成果により初収載が可能となり、売上も順調に推移しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、36,315百万円（前年同期比6.9%増）となりました。一方、営業所の増設などに伴う人件費の上昇などにより、販売管理費の伸び率が売上高の伸び率を上回っており、営業利益は7,228百万円（前年同期比0.9%減）となり、経常利益は7,388百万円（前年同期比7.0%増）、四半期純利益も4,340百万円（前年同期比0.7%増）にとどまりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、79,174百万円となり、前連結会計年度末比6,210百万円の増加となりました。そのおもな増加要因は、有形固定資産の増加6,886百万円、原材料及び貯蔵品の増加1,446百万円などであり、おもな減少要因は、現金及び預金の減少5,501百万円などです。

負債につきましては、29,495百万円となり、前連結会計年度末比3,194百万円の増加となりました。そのおもな増加要因は、長期借入金の増加2,055百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加1,095百万円などであり、おもな減少要因は、未払法人税等の減少948百万円などです。

純資産につきましては、49,679百万円となり、前連結会計年度末比3,015百万円の増加となりました。そのおもな要因は、利益剰余金の増加3,052百万円です。

その結果、自己資本比率は62.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は、8月8日に公表した計画の水準を若干上回るペースで順調に推移しております。

今後につきましても、同様の業績推移を見込んでおり、平成23年8月8日に公表しました平成24年3月期の連結業績予想（通期）は修正しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,531	4,029
受取手形及び売掛金	16,024	16,625
有価証券	2,000	2,599
商品及び製品	7,232	8,241
仕掛品	2,826	3,406
原材料及び貯蔵品	3,421	4,868
その他	1,668	2,080
貸倒引当金	△247	△134
流動資産合計	42,456	41,716
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,178	16,570
機械装置及び運搬具(純額)	1,918	3,263
土地	6,771	6,771
建設仮勘定	10,390	6,438
その他(純額)	573	675
有形固定資産合計	26,833	33,719
無形固定資産	606	768
投資その他の資産		
投資有価証券	1,791	1,677
その他	1,388	1,398
貸倒引当金	△112	△105
投資その他の資産合計	3,067	2,969
固定資産合計	30,508	37,458
資産合計	72,964	79,174

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,504	6,923
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	500	1,595
未払法人税等	2,135	1,187
引当金	72	54
その他	7,386	7,881
流動負債合計	16,899	17,942
固定負債		
長期借入金	8,500	10,555
引当金	176	171
その他	724	827
固定負債合計	9,400	11,553
負債合計	26,300	29,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717	4,717
資本剰余金	7,870	7,870
利益剰余金	34,117	37,169
自己株式	△11	△11
株主資本合計	46,694	49,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30	△67
その他の包括利益累計額合計	△30	△67
純資産合計	46,664	49,679
負債純資産合計	72,964	79,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	33,961	36,315
売上原価	15,809	16,361
売上総利益	18,152	19,954
販売費及び一般管理費	10,859	12,725
営業利益	7,292	7,228
営業外収益		
受取利息	15	14
受取配当金	3	3
有価証券売却益	1	—
技術指導料	56	55
貸倒引当金戻入額	—	128
有価証券評価益	—	65
その他	107	42
営業外収益合計	183	310
営業外費用		
支払利息	48	64
有価証券売却損	—	17
有価証券評価損	31	—
為替差損	—	17
スワップ評価損	476	45
その他	16	5
営業外費用合計	572	150
経常利益	6,903	7,388
特別利益		
貸倒引当金戻入額	57	—
投資有価証券受贈益	14	—
特別利益合計	71	—
特別損失		
固定資産処分損	1	10
投資有価証券評価損	81	109
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17	—
特別損失合計	100	119
税金等調整前四半期純利益	6,874	7,268
法人税等	2,563	2,928
少数株主損益調整前四半期純利益	4,311	4,340
四半期純利益	4,311	4,340

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,311	4,340
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△62	△36
その他の包括利益合計	△62	△36
四半期包括利益	4,249	4,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,249	4,303
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループ（当社及び連結子会社）は、医薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。